

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

平成31年01月30日

計画の名称	河南町における下水道整備（防災・安全）												
計画の期間	平成27年度～平成31年度（5年間）								重点配分対象の該当				
交付対象	河南町												
計画の目標	河南町の南の玄関口である中・馬谷・芹生谷地域において下水道整備を促進し、衛生的・文化的な住民生活を確保する。 これにより河南町の下水道整備が完了する。 この面整備に引き続き、地域住民の生命と暮らしを守り生活空間の安全確保し計画的な改築更新で汚水管渠の長寿命化事業を行う。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	262	A	262	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H27	H29	H31
1	面整備が終盤となるに従い、計画的な改築更新によりH27から汚水管渠の長寿命化事業を進める。 下水道（汚水管渠）長寿命化計画 期改善率（大宝地区） 整備区域内年次計画量（m） / 整備計画総事業量（1.4km）	14%	61%	100%
2	面整備が終盤となるに従い、計画的な改築更新によりH28から汚水管渠の長寿命化事業を進める。 下水道（汚水管渠）長寿命化計画 期改善率（大宝地区） 整備区域内年次計画量（m） / 整備計画総事業量（1.8km）	0%	62%	98%

備考等	個別施設計画を含む	<input type="radio"/>	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-
汚水長寿命化 期、汚水長寿命化 期下水道ストックマネジメント計画は、南河内4市町村広域化協議会にて共同で実施する。								

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容(延長・面積等)	市区町村名/港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	費用便益比	個別施設計画策定状況
												H27	H28	H29	H30	H31			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	河南町	直接	河南町	管渠(汚水)	改築	汚水管渠長寿命化	期	管更生L=1.8km、管布設L=1.4km、蓋替え175個	河南町					105	-	策定済
	下水道長寿命化計画																		
	A07-002	下水道	一般	河南町	直接	河南町	管渠(汚水)	改築	汚水管渠長寿命化	期	計画策定、管更生L=1.0km、管布設L=0.8km、蓋替え100個	河南町					137	-	策定済
	下水道長寿命化計画																		
	A07-003	下水道	一般	河南町	直接	河南町	管渠(汚水)	改築	下水道ストックマネジメント計画		計画策定	河南町					20	-	-
	種別1は他に管渠(雨水)を含む																		
											小計						262		
											合計						262		

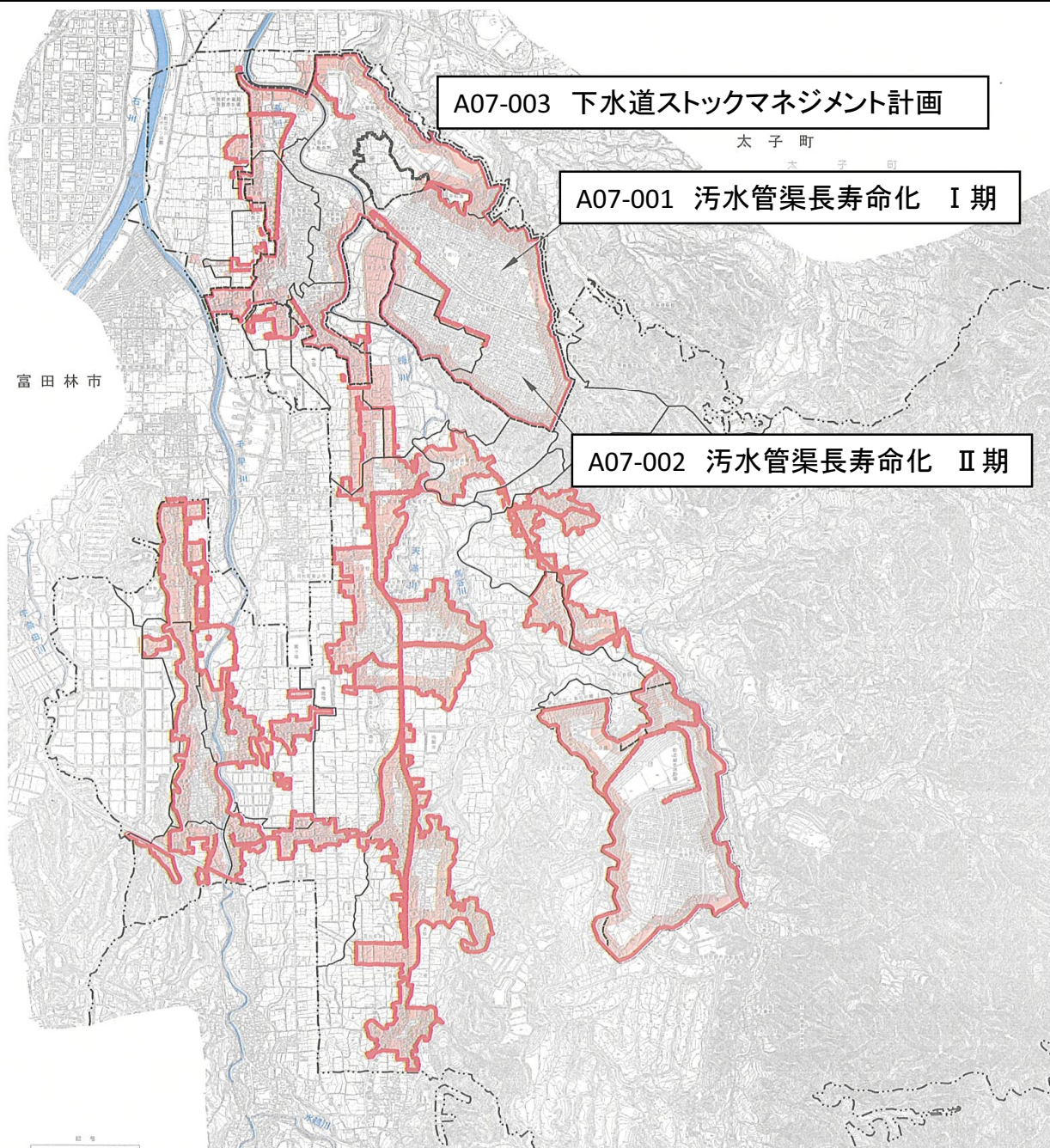
交付金の執行状況

(単位:百万円)

	H27	H28	H29	H30	H31
配分額(a)	10	29	23	31	
計画別流用額増△減額(b)	0	0	0	0	
交付金(c=a+b)	10	29	23	31	
前年度からの繰越額(d)	0	0	0	0	
支払済額(e)	10	29	23	31	
翌年度繰越額(f)	0	0	0	0	
うち未契約繰越額(g)	0	0	0	0	
不用額(h=c+d-e-f)	0	0	0	0	
未契約繰越率+不用率(i=(g+h)/(c+d))	0	0	0	0	
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

(参考様式3)

計画の名称	河南町における下水道整備 (防災・安全)	交付対象	河南町
計画の期間	平成27年度 ~ 平成31年度 (5年間)		



事前評価チェックシート

計画の名称： 河南町における下水道整備（防災・安全）

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 都市再生基本方針との適合等 1) 河南町下水道基本計画と適合している。	○
I. 目標の妥当性 都市再生基本方針との適合等 2) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 1) 地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 2) まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 地元の熱意 1) まちづくりに向けた機運がある。	○
III. 計画の実現可能性 地元の熱意 2) 住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	○
III. 計画の実現可能性 地元の熱意 3) 継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 2) 計画について住民等との間で合意が形成されている。	○